

2014年度図書館利用統計報告

各種統計(貸出・入館・データベース・機器・複写/貸借・その他)

種別	区分	2014年度	2013年度	2012	
貸出人数	学生	9,624	7,878	8,558	
	教員	376	321	445	
	職員	176	197	197	
	学外者	330	274	218	
	合計	10,506	8,670	9,418	
貸出冊数	学生	情報文化・国際文化	9,733	7,321	8,622
		情報システム学科	3,001	3,759	4,527
		その他(研究生など)	3	2	15
	教員	国際学部	324	345	429
		情報文化学部	373	315	609
		その他(非常勤等)	52	59	53
	職員	228	264	271	
	学外者	487	455	348	
	合計	14,201	12,520	14,874	
入館者数(延べ数) ※同一利用者が1日複数回入館した場合、複数回としてカウントする 例)同一利用者が1日5回入館した場合、5回カウント	学生	情報文化・国際文化	37,272	41,906	39,926
		情報システム学科	22,410	23,325	27,556
		その他(研究生など)	17	29	37
	教員	国際学部	657	610	512
		情報文化学部	438	479	753
		非常勤講師	85	93	74
	職員	175	179	264	
	学外者	1,838	1,869	1,872	
合計	62,892	68,490	70,994		
朝日新聞ログイン数	サイトライセンス 2ID	1,628	3,312	1,810	
日経テレコン21検索数	サイトライセンス 5ID	239,811	196,815	-	
新潟日報ログイン数	サイトライセンス 1ID	484	1,782	-	
人民日報ダウンロード数	合計	103	23	18	
東亜日報アクセス数	合計	13	12	47	
イズベスチア/プラウダログイン数	合計	21	29	37	
電子ジャーナル(ProQuest)	合計	103	609	981	
電子ジャーナル(Cambridge)	合計	63	68	54	
電子ジャーナル(CNKI)	合計	44	53	17	
電子ジャーナル(EBSCO)	合計	117	-	-	
電子ジャーナル(JSTOR)	合計	179	247	277	
DB_Mathscinet	合計	83	41	79	
日経BP記事検索サービスダウンロード数	合計	2,146	6,114	4,014	
電子情報通信学会論文誌アクセス+表示+DL数	合計	62	106	51	
学術コンテンツポータル(CiNii)検索数	合計	20,281	41,077	22,270	
NICHIGAIログイン数	サイトライセンス 2ID	260	540	274	
雑誌記事索引集成ログイン数	サイトライセンス 1ID	119	-	-	
Japan Knowledgeログイン数	サイトライセンス 1ID	213	372	123	
本学リポジトリダウンロード数	合計	832	-	-	
AV関連機器	合計	2,863	2,542	2,732	
PC関連機器	合計	212	508	365	
CD-ROM	合計	1	3	1	
グループ学習室利用回数	合計	301	539	268	
文献複写依頼	合計	390	520	598	
貸借依頼	合計	19	27	18	
文献複写受付	合計	47	81	50	
貸借受付	合計	31	30	26	
館内文献複写枚数	合計	1,708	3,985	2,760	
ガイダンス数	合計	37	37	37	
学外登録	合計	63	59	28	
開館日数	合計	276	270	269	

利用動向

貸出

貸出冊数は、2013年度より1,681冊増加した。
国際学部・情報文化学科の学生の貸出が2,412冊増加した一方で、情報システム学科は758冊減少であった。

貸出人数は、全体で1,856人増加しており、学生が1,746人増加している。

特に、ELT関係の資料の利用が多く、年間貸出上位を占めており、授業との連携が図書館利用促進に必須であることがわかる。

入館

入館者数は、2013年度より5,598人減少した。学生では、国際学部・情報文化学科が4,634人、情報システム学科は915人の減少であった。

滞在型図書館として機能を整備してきたが、学生会館の新設や学生食堂の改修により、学内に快適な生活空間が増えたことも減少の一因であると推察される。

図書館に滞在する時間の長さや延べ入館者数は比例するのが通常であるが、今年度は、貸出数が増加して入館者数が減少したことから、資料の借用という目的が明確な利用者が増加したと推察される。

その他 大部分のデータベースの利用が減少したが、日経テレコン21(日本経済新聞)の利用が大幅に増加した。

海外のジャーナルのオープンアクセス化が進み、学外への文献複写の依頼も減少していることから、データベースの見直しが必要である。

情報システム学科の学生の利用が減少傾向が激しいことから、図書館の活用方法を模索してゆきたい。